

209年2月24日 手賀沼観察会から報告

2月24日(日)手賀沼観察会を実施しました。集合は常磐線天王台駅、例年我孫子市の手賀沼か岡発戸谷津田ミュージアムで3月に観察会を実施していましたが、この時期の観察会はお天気と気温で渡り鳥がもう飛び立ってしまうか、まだ飛び立っていないかで難しい時期なのです。冬鳥の観察は2月初めの方がよく3月近くなるともう北へ帰ってしまうか春の鳥はまだ間に合わないかの一番難しい季節になります。2月は雪が降ったり気温の低い日があったのですが、全体に例年より気温が高い方向のようで乾燥がひどく野草にとっては良くないようでした。昨年秋の鳥の博物館をコースに入れての観察会が雨のため中止になっていたので今回は鳥の博物館もコースに入れました。この日は天皇在位30年の記念で入場無料でした。もっともこの施設は普段は高齢者は入場が免除されたりしています。見学時間は約40分2階3階の展示が主です。各自自分の興味のある部屋を回りました。

開催時期が良くなかったか参加者はごく少数になってしまいましたが、高崎から参加してくださった方もおられいつものように皆で歩きながら互いにシェアして少ない鳥をさがしました。アオジ、オオジュリン、ツグミ、スズメ、ジョウビタキ、ムクドリ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、バン、コブハクチョウなどが確認されました。

手賀沼に面した芝生で日向ぼっこで昼食をとり、最後は我孫子市の名所大正の白樺派が愛したはげの道を歩き志賀直哉や嘉納治五郎や杉村楚人冠への思いを話しながら文学の道を我孫子駅へ向かいました。(島藤 記)

